

第2学年1組 学級活動（1）指導案

2026年1月22日（木）5校時

児童数 37名

指導者 濱田 梨乃

1 議題 みんなが楽しめる○○リレーをしよう

（ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2 議題選定の理由

○ 本学級の児童は、活動的でエネルギーに溢れています。話合いや集会活動を非常に楽しみにしている一方で、全体での話合いの際には、発言している児童の意見に耳を傾けることが難しいという課題も見られる。

2学期半ばからは、自分たちで司会進行をする経験を通じ、単に「自分のやりたいこと」を主張するだけでなく、「みんなのために何ができるか」という視点で意見を出す児童が少しずつ増えてきました。また、互いの意見に折り合いをつけ、合意形成を図ろうとする姿も見られる。

しかし、自分の思いを優先させようとする傾向は残っています。そこで本議題を通して、自分たちの楽しみを追求するだけでなく、周囲の友だちの意見を尊重し、学級全員が納得できる「みんなを意識した話合い」の力をさらに高めていきたいと考える。

○ 本議題は、「みんなで体を動かして遊ぶのは楽しいけれど、運動が苦手な友達と一緒に楽しめるようにしたい」という、児童の優しい願いから生まれたものである。これまでの生活や遊びの中で、運動能力の差により全員が心から楽しめない場面があったことを、児童自身が課題として捉え始めている。

低学年から中学年への移行期において、みんなが楽しいと思えることが大切である。「苦手な人も楽しめる種目やルールは何か」を真剣に考え、相手の立場に立って行動する力や、学級全体を思いやる意識を育みたいと考え、実践することを通して、協力することの大切さを味わうことができるようと思い、本議題を選定した。

○ 話合い活動では、児童が司会進行をし、自分たちで話し合い、多様な意見を生かして合意形成をしていくことを支援していく。司会グループが中心となって話を進める中で、意見が対立したり、論点がずれたりして合意形成が難航する場面も予想される。その際、指導者は「自分たちがやりたいこと」に終始せず、「みんなのために」という視点に立ち戻れるよう、司会にフロアの意見を聞くように支援する。

具体的には、意見を比較検討する場面で「それは苦手な人も楽しめるかな？」と問いかけたり、板書を視覚的に整理したりすることで、一部の意見だけでなく、全員が納得できる意見で合意形成できるように支援する。この活動を通して、他者の思いを尊重しながら、集団としてより良い人間関係を築いていくことを目指す。

3 目指す子どもの姿

- ・分からぬことや疑問に思うことを出し合いながら話合いを進めることができる。
- ・全体のことを考えて意見を出すことができる。

4 評価規準

より良い生活を築くための知識及び技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより良くしようとする態度
みんなが楽しめる種目を考え、自分の意見を言ったり、友だちの考えを聞いたりして、考えをまとめていく。	どんな種目にすればみんなが楽しめるかを考え、みんなの意見を生かしながら合意形成を図り、仲良く助け合って実践している。	友だちの意見を聞いて考え、苦手な子も楽しむにはどのような種目にするべきか自己の考えを持ち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時	児童の活動（☆全員 ★計画委員会）	指導上の留意点・支援
1月9日 きらきらタイム	☆議題を選定し、決定する。	「この活動でどんな学級にしたいか」という視点をもって選定する。
1月13日 休み時間	★活動計画（提案理由・めあて・司会グループの役割）を作成する。	提案理由やめあてを、分かりやすく具体的に設定するよう助言する。
1月15日 きらきらタイム	☆議題と提案理由を確認して学級会ノートに自分の意見を書き、司会グループに提出する。	意見が具体的になるよう助言する。
1月19日 休み時間	★意見を分類し、比べる段階で出される論点を予想し、話合いの見通しを立てる。	意見を分類・整理し、板書計画を立て順序立てて話し合えるよう司会グループに助言する。

6 本時のねらい

- ・「苦手な人も楽しめる活動」の観点を持って、みんなで何をするかを考えることができる。

7 児童の活動計画（別紙）

8 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿 【評価の観点】(評価方法)
話合いのめあてを確認する。 決まっていることを確認する。	司会グループと確認しながら、予め板書しておく。	
話合いをする 柱1 苦手な人も楽しめるリレーを考えよう 出し合う <ul style="list-style-type: none"> ・大股リレー ・生き物リレー ・スキップリレー ・けんけんリレー 比べる <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な人も楽しめる ・走るのが好きな人も楽しめる ・まだしたことがない まとめる 決まったことを確認する。		<p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを積極的に発言しようとしている。(フロアの発表) <p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱や提案理由に沿って、意見を比べて、より良いものを考えている。(観察・フロアの発表) <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の集会のイメージを持って話を聞いている。(観察)
柱2 役割を決める ・司会、はじめの言葉 終わりの言葉、タイマー、準備 決まったことを確認する。		
教師の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由に沿って話していた児童や、自分の意見を進んで言えていた児童、友達の意見をよく聞いていた児童を評価する。 ・司会グループの良かった点を具体的に伝え、次の話合いへの意欲を高める。 	
話合いをふり返る。 ①司会グループ ②フロア	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が話合いの中で頑張ったことや友だちの意見の良さを書くように助言する。 	<p>【主】</p> <p>自分や友だちのよさについてふり返ろうとしている。(ふり返りの内容)</p>

9 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点・支援	目指す児童の姿 【評価の観点】(評価方法)
1月 日() 特別活動	集会活動	役割やり遂げることができるよう支援する。	【主】進んで自分の役割を果たそうとしている。